

質 問 回 答

2016 年 4 月 4 日

「(案件名)大洋州地域大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト(フェーズ2)基本計画策定調査」
(公示日:2016年3月23日/公示番号:160076)について、いただいた質問と回答は以下のとおりです。

通 番 号	当該頁項目	質 問	回 答
1	P7 (4) 日本側調査団の構成	環境社会配慮についてはカテゴリ-Bとの明記がありますので、それを前提の調査と理解してよろしいでしょうか。	はい、その通りです。
2	P7 (4) 日本側調査団の構成	環境社会配慮の対象国に、PNG、フィジーが含まれています。弊社の理解では、PNGについては既にフェーズ1の活動で既存処分場(バルニ処分場)の改善工事が実施されていますが、当該処分場(及びその関連施設)が対象となるのでしょうか。また、フィジーに関しては、(2)地域・各国の想定されるプロジェクト概要(案)のうち、どの活動が対象となる可能性があるのか、ご教示いただけますでしょうか。	PNG に関しましては、その通りです。他方、現地調査、協議の結果不要となった場合には、不要とした理由をそろえる必要があります。 フィジーに関しては、M/P を策定する中で、最終処分場の拡張、改善工事が想定される、又は各種関連施設建設が必要となった場合や各種資機材供与に備えています。従いまして、受注者が調査前に作成するプロジェクト概要(案)を踏まえつつ、調査内容を決めたいと考えています。
3	P7 (5) 調査団の派遣時期及び現地調査日程	「最大4か国までは同時平行の調査が可能」とありますが、これは必ず協力企画の方が全ての国および州をコンサルタントと共に入るスケジュールをしなければならないという意味と理解すべきでしょうか。	R/D 案の協議を行うため、全ての国に入ります。他方、現地調査に基づきプロジェクト概要案(PDM 案)が作成され、先方実施機関とその協議を行うのは、現地調査期間の後半を想定しています。このため、全ての州に同行するとは限りません。上記に沿って、スケジュール案をご提案ください。

4	P8 (5) 調査団の派遣時期及び現地調査日程の表	調査期間(案)の事前準備と事後整理について、それぞれ1週×9か国×2分野+3週=21週との記述がありますが、ここで述べられている2分野とはどれを指しているのでしょうか。	廃棄物管理と評価分析です。すなわち、全コンサルタント団員に関し1週間/国の事前準備期間を想定しています。
5	P8 (6) 作成文書及び資料	本調査では「合計10のPDM(案)、PO(案)」を作成することになっていますが、各国(9か国)に加えて地域版のPDM(案)、PO(案)を作成するという認識でよいのでしょうか。各州および各自治体のPO(案)は本調査では作成する必要はないとの認識でよいのでしょうか。	その通りです。各州・自治体においてPO(案)まで作成する必要はありません。他方、プロジェクト開始後に作成する必要がある場合は、その旨調査時に明らかにし協議議事録(M/M)に記載願います。
6	P12 6. 成果品等(1)報告書	報告書(ア)(イ)(ウ)の提出期限については、指示書の記載通り、(ア)(イ)については「全体業務終了時」(すなわち9月末)、(ウ)については「8月中旬」という認識でよいのでしょうか。	(ウ)についても同様に9月末で結構です。この点は、契約交渉時に最終確認させてください。
7	P15,5,(2)見積作成にかかる留意事項	「航空賃・旅費・直接人件費・その他原価・一般管理費のみ記載すること。尚車両借上げ等の経費の扱いについては、(中略)見積の作成は不要とする。」とありますが、一般業務費については車両借上げ費以外も見積る必要はないという理解で正しいのでしょうか。	はい、プロポーザル提出時点での見積は不要です。他方、契約金額には含む想定ですので、契約交渉時に契約金額の根拠については確認させていただきます。

以上